

# 令和7年度多摩イノベーションエコシステム実行委員会（第3回）

## 次 第

日時：令和8年3月26日（木曜日）  
11時30分より

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議事
  - 議案1 令和8年度「多摩イノベーションエコシステム促進事業」実施に係る協定について
  - 議案2 第3回たま未来・産業フェアの実施報告及び第4回たま未来・産業フェアの事業計画について
  - 議案3 第4回たま未来・産業フェアの企画運営業務委託について
  - 議案4 令和7年度事業報告及び収支決算について
- 4 報告事項
  - 多摩イノベーションエコシステム企画選定委員会実施報告書
- 5 その他
- 6 閉会

### <資料一覧>

- |       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 資料1   | 多摩イノベーションエコシステム実行委員会 名簿              |
| 資料2   | 令和8年度「多摩イノベーションエコシステム促進事業」実施に係る協定書   |
| 資料3   | 第3回たま未来・産業フェア実施報告及び第4回たま未来・産業フェア事業計画 |
| 資料4   | 第4回たま未来・産業フェアの企画運営業務委託について           |
| 資料5-1 | 令和7年度事業報告書                           |
| 資料5-2 | 令和7年度決算報告書                           |
| 資料6   | 令和7年度多摩イノベーションエコシステム企画選定委員会実施報告書     |

多摩イノベーションエコシステム実行委員会 名簿

委員長	東京都産業労働局長	田中 慎一
委員	東京都産業労働局商工部長	福田 哲平
同	東京都商工会議所連合会 幹事商工会議所 多摩商工会議所 専務理事	須崎 覚
同	東京都商工会連合会専務理事	渡辺 由佳
同	一般社団法人首都圏産業活性化協会 理事・事務局長	芳賀 啓一
同	公益財団法人東京都中小企業振興公社 専務理事	山手 斉
同	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ所長	片桐 正博

(敬称略)

## 令和 8 年度「多摩イノベーションエコシステム促進事業」

### 実施に係る協定書

東京都（以下「甲」という。）と多摩イノベーションエコシステム実行委員会（以下「乙」という。）は、令和 8 年度「多摩イノベーションエコシステム促進事業」を実施するため、次の条項により協定を締結する。

（目的）

第 1 条 本協定は、甲と乙が共同で実施する「多摩イノベーションエコシステム促進事業」について、必要な事項を定めることを目的とする。

（協定期間）

第 2 条 本協定の期間は、協定締結の日から令和 9 年 5 月 31 日までの間とする。

（事業内容）

第 3 条 甲及び乙は、多摩を世界有数のイノベーション先進エリアへ進化させるため、別紙 1「事業計画」及び別紙 2「収支予算」に基づき多摩イノベーションエコシステム促進事業を実施する。

（業務分担）

第 4 条 事業の実施における甲乙の業務分担は、次のとおりとする。

（1）甲の業務分担

- ア 事業の企画及び実施等の協議並びに助言に関すること。
- イ 負担金の支出

（2）乙の業務分担

- ア 事業の企画及び実施等に関すること。
- イ 実行委員会の運営に関すること。

2 乙は、自己の分担業務について、第三者に委託できるものとする。

（経費負担・支出）

第 5 条 甲は乙に対し、乙の事業実施に係る経費支出に充当する資金として、事業収支予算に基づく負担金の額を上限として支出する。

（事業計画の変更）

第 6 条 事業計画記載の内容及び収支予算の予算額を変更しようとするときは、甲乙間において協議するものとする。

（負担金の払込）

第 7 条 乙は、甲に対して多摩イノベーションエコシステム促進事業の負担金の支払を請求し、甲はその内容を審査し、適正と認めたときは、請求金額を乙

に支払うものとする。

(経理)

第8条 乙は、多摩イノベーションエコシステム促進事業に関して専用の口座を開設するとともに他の事業から区分して会計を設け、経理を明確にしなければならない。

2 乙は、令和8年度多摩イノベーションエコシステム促進事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿を備え、当該収入及び支出について証拠書類を整理し、常に経理状況を明らかにするとともに、当該帳簿及び当該証拠書類を令和8年度多摩イノベーションエコシステム促進事業終了後5年間保管し、乙が解散後は甲に適正に引継ぐものとする。

3 甲は乙に対し、いつでも前項に定める経理に係る帳簿等の閲覧を求めることができる。

(事業報告及び決算報告)

第9条 乙は、令和8年度多摩イノベーションエコシステム促進事業が終了したときは、別記第1号様式により速やかに実施報告書、収支決算書及びその他甲の指示する書類を甲に提出し、その承認を得なければならない。

(負担金の精算)

第10条 甲は、前条の規定により提出のあった書類に基づき、令和8年度多摩イノベーションエコシステム促進事業終了後速やかにその内容を調査・審査の上、適当と認められるときは、負担額を確定し、乙に対して別記第2号様式により通知する。

2 乙は、前項による額の確定通知を受けたときは、ただちに別記第3号様式により精算するものとする。

(事務処理状況の調査)

第11条 甲は、必要と認めるときは乙の事務処理状況を調査することができる。

2 甲は、前項の調査に当たり、第8条に定める帳簿その他の関係書類等の提出を乙に求めることができる。

(解除及び負担金の返還)

第12条 次の各号のいずれかに該当する場合は、甲及び乙は本協定を任意に解除するとともに、当該時点までにかかった実費について、甲乙協議の上相応の負担を行うものとする。実費に係る負担を除き、甲は乙に対し支払った負担金の一部又は全部について返還を求めることができる。

(1) 甲又は乙が本協定書の各条項に著しく反したとき。

(2) 甲において、公益上の見地から多摩イノベーションエコシステム促進事業を中止する必要があるが生じたとき。

(3) 乙の多摩イノベーションエコシステム促進事業の執行上、甲の共催事業としてふさわしくない行為があったとき。

(4) 荒天・天変地異などの影響によりやむを得ず中止する場合。

- 2 甲及び乙は、前項の規定に基づき、本協定を解除したため本協定の相手方に損害が生じて、その賠償の責めを負わない。

(緊急時の対応)

第13条 甲及び乙は、多摩イノベーションエコシステム促進事業の実施期間中、運營業務の実施に関連して事故、災害、その他の緊急事態（以下、「緊急事態」という。）が発生した場合に備え、対処に関する体制の整備その他必要な措置に関する事項を定めなければならない。

- 2 甲及び乙は、緊急事態が発生した場合は、速やかに必要な措置を講ずるとともに、関係者に対して緊急事態発生を旨を通報しなければならない。
- 3 緊急事態が発生した場合は、甲及び乙は、事故等の原因調査に当たらなければならない。

(暴力団等の排除)

第14条 乙は、多摩イノベーションエコシステム促進事業の運營業務を実施するに当たり、乙や乙に所属・関連する法人その他団体又はその代表者、役員、使用人、従業者若しくは構成員に、暴力団（東京都暴力団排除条例（平成23年東京都条例第54号。以下「暴排条例」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員等（暴排条例第2条第3号に規定する暴力団員及び同条第4号に規定する暴力団関係者をいう。）による不当若しくは違法な要求又は本協定の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、次の義務を負うものとする。

- (1) 断固として不当介入を拒否すること。
- (2) 甲に報告すること。
- (3) 警察に通報するとともに捜査上必要な協力をすること。

(個人情報の取扱い)

第15条 甲及び乙が、分担業務により取得した個人情報は、各々が保有する個人情報とし、他人に漏らしてはならない。運營業務終了後においても同様とする。

- 2 甲及び乙は、各々が保有する個人情報の取扱いについて、関連法令等を遵守し、適正に管理を行う。
- 3 甲又は乙の故意・過失により事故が生じた場合は、各々の責任と費用負担によりこれを解決する。
- 4 甲及び乙は、多摩イノベーションエコシステム促進事業に係る業務が終了したときは、各々が保有する個人情報について、法令等にあらかじめ定められた保存年限に従い保管した後、適正に廃棄する。

(裁判管轄)

第16条 本協定に関して生じた甲乙間の紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

(権利の帰属)

第17条 多摩イノベーションエコシステム促進事業の実施により得られる成果・著作物に対する著作権は、甲に帰属するものとする。

- 2 甲及び乙並びに乙の構成員は、それぞれの事業において必要があると認める場合には、本件による甲の保有成果物を利用できるものとし、甲は別途料金

を請求しないものとする。

(協定の変更)

第18条 甲及び乙は、運營業務の内容等を変更する必要があるとき又は経済情勢の変動、不可抗力その他予期することができない事由により本協定に定める条件が不適當となった場合は、協議の上本協定を変更することができる。

(補則)

第19条 本協定に定めのない事項又は本協定に関し疑義が生じたときは、甲及び乙は、その都度誠意をもって協議を行い、これを決定するものとする。

協定締結の証として甲と乙とは、本協定書を2通作成し、それぞれ記名押印の上、その1通を保有する。

令和8年4月 日

甲 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
東京都  
代表者 東京都知事

乙 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
多摩イノベーションエコシステム実行委員会  
代表者 実行委員長

(別記第1号様式)

年 月 日

東京都知事

様

所在地  
名称  
代表者氏名

印

多摩イノベーションエコシステム促進事業の実施に係る事業報告書・収  
支決算書の提出について

このことについて、多摩イノベーションエコシステム促進事業の実  
施に関する協定書第9条の規定に基づき、別添のとおり提出します。

(別記第2号様式)

産労商調第 号  
年 月 日

名称  
代表者名

東京都知事

印

多摩イノベーションエコシステム促進事業の実施に係る東京都負担額の確定について

このことについて、 年 月 日付けで提出のありました多摩イノベーションエコシステム促進事業の実施に係る事業報告書及び収支決算書については、記載のとおり承認いたします。

また、東京都が負担する額について、下記のとおり確定しましたので通知します。

記

負担金額確定額 金 円

(別記第3号様式)

年 月 日

東京都知事

様

所在地  
名称  
代表者氏名

印

多摩イノベーションエコシステム促進事業の実施に係る負担金精算書

このことについて、 年 月 日付 産労商調第 号で額の  
確定のあった標記の件について、下記のとおり精算します。

記

精算額  
金

円

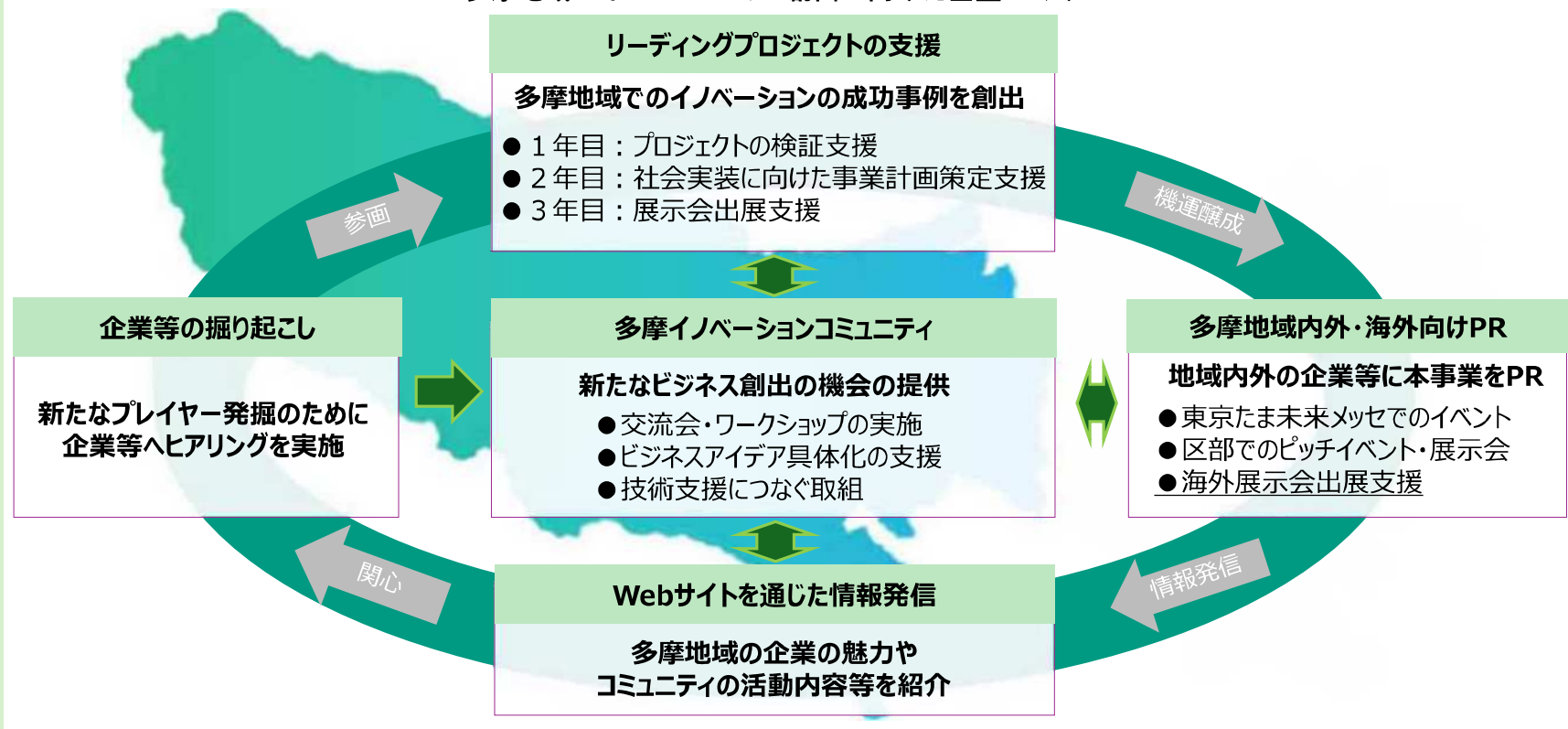
# 令和 8 年度多摩イノベーションエコシステム実行委員会 事業計画

## 第 1 事業目的

多摩地域には、技術力の高い中小企業や大学・研究機関などが集積しており、これらの力を合わせることで、社会的な課題の解決を実現できる高いポテンシャルを持っている。本実行委員会では、「多摩地域でのイノベーションエコシステム形成に向けた取組方針」に基づき、地域の課題解決を図る製品等を生み出すため、多様な主体が交流し連携を強める取組を展開する。

こうした取組により、イノベーションを起こし続ける好循環をつくることで、さらなる地域産業の活性化を図っていく。

多摩地域のイノベーション創出に向けた基盤づくり



## 第2 実行委員会

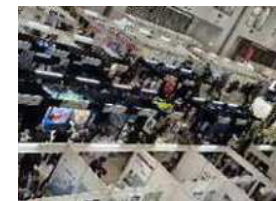
- 1 実行委員会  
年3回（令和8年5月及び令和9年2・3月頃（予定））
- 2 実行委員会幹事会  
年2回（令和8年5月及び令和8年10月頃（予定））

## 第3 事業内容

- 1 企業等の掘り起こし  
新たなプレイヤー発掘のため、多摩地域内外の企業やSU、大学・大企業等にヒアリング
- 2 リーディングプロジェクトの支援  
社会的課題を重点テーマとして9つ設定。テーマに沿って企業や大学等が連携して実施する取組を、多摩地域でのイノベーション創出のアドバルーン（成功事例）＝リーディングプロジェクト(LP)として募集・選定(年間10件程度)。実証や社会実装に向けた取組を支援
- 3 多摩イノベーションコミュニティ  
多摩地域の中小企業、SU等を中心にネットワークを拡大し、交流を促進。新たなビジネスを創出するプラットフォームを運営し、プロジェクト創出のためのワークショップ等を企画。令和8年度は海外展示会への出展にあわせ、海外展開への機運醸成のためのワークショップを実施予定  
【コミュニティ会員数：481件（令和8年1月末時点）】
- 4 多摩地域内外・海外向けPR  
たま未来・産業フェアの実施や令和8年度からは海外展示会への出展を実施
- 5 Webサイトを通じた情報発信  
本事業や多摩地域の企業等の魅力について、WEBサイト等で発信



令和7年度選定LP



第3回たま未来・産業フェア

## 令和8年度多摩イノベーションエコシステム実行委員会 収支予算

令和8年度における多摩イノベーションエコシステム促進事業に伴う予算を、下記のとおり編成する。

## 記

(収入の部)

(単位:円)

大科目	内容	金額	備考
負担金収入	東京都からの負担金収入	989,780,000	
雑収入	その他の収入	0	
計		<b>989,780,000</b>	

(支出の部)

大科目	中科目	金額	備考
事業運営費	委託料	984,810,000	事業運営に係る委託費
	会場借上費	4,500,000	企画開催に係る会場費
	雑支出	0	
事務局運営費	会議費	50,000	委員会の開催等に係る経費
	旅費交通費	10,000	事務局等の旅費、交通費
	消耗品費	10,000	事務運営に係る消耗品の経費
	役務費	400,000	印紙代、振込手数料、その他の経費
計		<b>989,780,000</b>	

# 第3回たま未来・産業フェアの実施報告

## 開催概要

○会 期 令和8年1月30日（金）10:00-17:00 / 1月31日（土）10:00-16:00

○出展者数 **146社** ※リーディングプロジェクト19社含む

○分 野



加工、切削技術、機械の設計等。  
確かな技術や先進性を持つ  
ものづくり企業が集います。

ものづくり



脱炭素化、業務効率化、ロボット等。  
昨今進化が著しい分野に精通する  
企業が集います。

GX・DX



レジャー、防災、ヘルスケア等。  
人々のくらしに寄り添い支える  
製品やサービスが集います。

くらし



多摩地域の課題解決に向け、  
イノベーションの創出に取り組む  
プロジェクト参加企業が集います。

リーディングプロジェクト

○出 展 者 分野別

ものづくり	GX・DX	くらし	LP
54社	44社	29社	19社

地域別

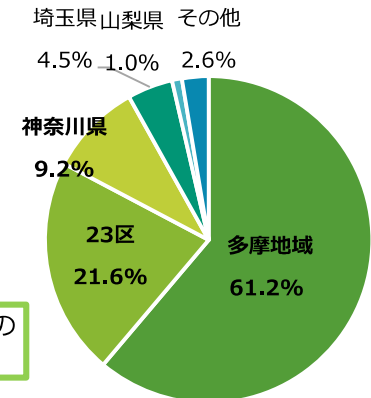
多摩地域	区部	神奈川県	埼玉県	山梨県
68社	52社	16社	9社	1社

○来場目標 延べ8,000人

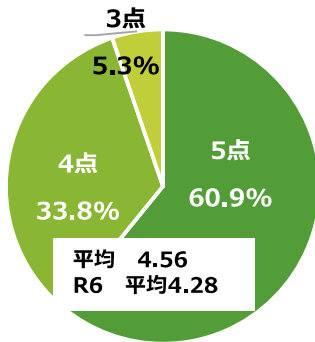
○来場者数

	1/30(金)	1/31(土)	計	(昨年)
来場者数	1,579人	1,807人	<b>3,386人</b>	3,190人
延べ来場者数	3,598人	4,415人	<b>8,013人</b>	7,749人

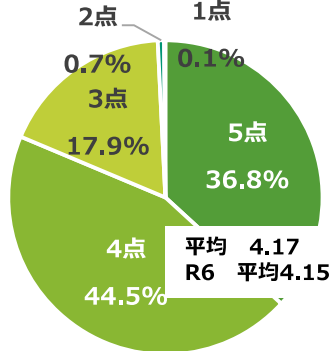
※八王子企業23社



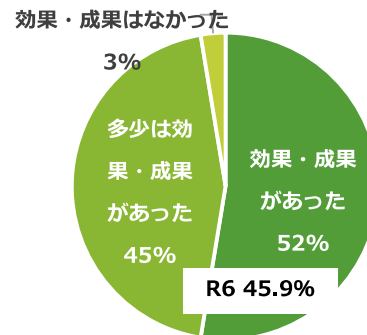
### ①出展者満足度



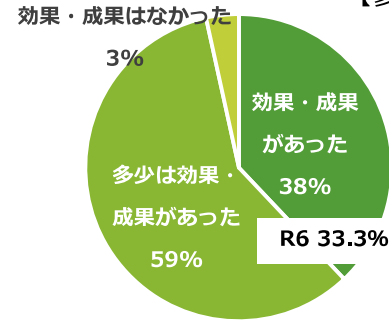
### ②来場者満足度



### ③販路拡大・情報収集等の ビジネスチャンス獲得



### ④新たなビジネスヒント等の イノベーション創出



【参考】来場者がどこからきたか

# 「第4回 たま未来・産業フェア」事業計画

- 目的**
- 多摩地域内外から出展企業・来場者を集め、交流・連携の機会を提供（多摩地域のイノベーション機運の醸成）
  - 製品展示によるPRや販路拡大、商談・ビジネスマッチングの促進
  - 新たなビジネスに向けたヒントの獲得や、テストマーケティングの場として活用

- 日程・会場**
- 開催期間：2027年1月22日（金）10：00～17：00  
23日（土）10：00～16：00
- 会場：東京たま未来メッセ 全館

## イベント概要

### 【出展対象】

以下①～③をすべて満たす企業

- ①東京都、埼玉県、神奈川県、山梨県のいずれかに事業所を有する中小企業
- ②次の分野のいずれかに該当する「ものづくり」「DX・GX」「くらし」
- ③イノベーション創出意欲がある

### 【出展料】

無料

【出展／来場目標】※カッコ内はR7年度実績

- 出展者目標数：150社（146社）
- ※リーディングプロジェクト約20社含む
- 来場者目標数：延べ**8,100**人（8,013人）

## 企画

### 1. 多摩エコ事業のPR

- リーディングプロジェクト成果発表ステージ
- 多摩イノベーションコミュニティWS

### 2. toB向けプログラム

- 講演
- 交流拠点「たまスタンド」

### 3. toC向けプログラム

- 講演、ブース周遊企画
- ものづくり体験、就職支援セミナー

### 4. 出展者支援

- 特別商談会、出展者交流会

## R8のポイント

### ① 特別企画

- ・ イノベーション創出につながるような**ビジネス層のニーズが高く、子どもも楽しめる企画例）日本を支えるものづくりの技術、最先端環境系テクノロジーや省人化ロボットなど**

### ② 出展者フォローアップ

- ・ 出展者向けスキルアップサポートに加え、協業に向けた交流意識を高める取組を実施
- ・ イベントを通じて協業・連携への意欲が高まった出展者がイベント後に取組を進められるよう、会期後も企業間の連携を進めていくような企画を実施

### ③ ステージイベント・ワークショップ等

- ・ 「BtoBからBtoCへの挑戦」「中小企業×スタートアップの協業」など、新たな事業分野への参入や他社との連携を考えるきっかけとなるプログラムを実施
- ・ 聴講者（来場者・出展者）へ具体的な成果や事例を発信し、取組意欲をさらに後押し

### ④ 来場者層

- ・ 交流拠点たまスタンドの滞留を増やすような企画の実施
- ・ ビジネス層を誘引するような金曜日の3階会議室利活用の実施
- ・ 土曜日のコンセプトを「大人から子どもまで楽しめるようなイベント」として土曜日でもビジネス層の来場・商談を促す

## スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●委託者募集	●企画選定委員会		●HP立上げ ●出展者募集		●出展者決定	●HPリニューアル ●来場者誘致			●会期 (1/22・23)		●出展者交流会 (WS、セミナー)

**主催：多摩イノベーションエコシステム実行委員会**（東京都、東京都商工会議所連合会、東京都商工会連合会、（一社）首都圏産業活性化協会、（公財）東京都中小企業振興公社、（地財）東京都立産業技術研究センター）

## 第4回たま未来・産業フェアの企画運営業務委託について

### 1 契約概要

- ・たま未来・産業フェアの運営を委託

**【件名】** 第4回たま未来・産業フェアの企画運営業務委託

**【契約期間】** 契約確定の日の翌日から令和9年3月31日まで

**【契約方式】** 企画提案方式（最も優れた提案をした事業者を採用）

- ・会場を東京たま未来メッセとし、会場費は上記契約とは別に直接会場に実行委員会が支払う

### 2 契約スケジュール

3月		4月				5月			
23	30	6	13	20	27	4	11	18	25
●3/26 実行委員会		●4/10 仕様書公表・ 応募受付開始	●4/16 応募受付終了					●5/18 提案書受付終了 ●5/22 企画選定委員会	

### 3 仕様書の構成

#### 【仕様書本体】

- ・契約にあたっての一般的事項  
(支払に関する事、次年度への事務引継ぎに関する事、個人情報に関する事等)

**【仕様書別紙】** 次ページ参照

## 4 仕様書別紙概要

項目	主な業務
1. 実施計画の作成 2. 全体企画に関すること 3. ウェブサイトに関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全体計画・実施計画の作成</li><li>・ ウェブサイトの制作・維持更新 等</li></ul>
4. 出展者の募集・審査・選定	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業目的に合致する質の高い出展者を集めるための広報</li><li>・ 上記出展者を選定するための審査 等</li></ul>
5. 出展者サポート	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 出展者が、本イベントの実施目的を理解し、計画的に出展や交流に向けた準備を進めるための各種サポート</li></ul>
6. 来場者広報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ポスティング広告やネット広告等、各種広報施策の実施</li></ul>
7. 展示会の開催及び運営に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 会場の施工（ブース設営等）</li><li>・ ステージイベントやワークショップ等の企画運営</li></ul>
8. イベント後の対応 9. 制作物 10. その他イベント実施に係ること	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 出展者アンケートの実施や報告書の提出</li><li>・ たま未来・産業フェアの開催にあたり必要な物品の制作等</li></ul>

## 5 令和8年度の主な変更点

項目	主な変更点
★来場者のうちビジネス層を誘因する企画の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>金曜日の会議室の利用方法</b>について受託者から<b>創意工夫による提案</b></li> <li>・ <b>特別企画のメインターゲット</b>を<b>ビジネス層</b>にフォーカス</li> </ul> <p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回では<b>土曜日の来場者数が前回より200名近く増加</b>した一方、<b>金曜は微増</b></li> <li>・ <b>地域に根差したイベント</b>として住民に認知され、<b>土曜日の来場者数は次回以降も見込める</b>ことから、<b>ビジネス層への誘因を強化</b></li> </ul>
★交流拠点たまスタンドの活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>来場者をたまスタンドに呼び込む仕掛けを実施</b></li> </ul> <p>例) ゲストを招致した名刺交換タイムなど</p> <p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで、各ブースでの出展者と来場者の交流にとどまらず、来場者同士、出展者同士が<b>交流する場としてたまスタンドを設置</b></li> <li>・ しかし、<b>第3回は利用者数が伸び悩み</b></li> <li>・ 会場のスペースが限られる中で、たまスタンドを活性化することにより、全体の交流数の増加が見込める</li> </ul>
★目標来場者数（延べ）	<p>8, 000人→<b>8, 100人</b></p> <p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記改善により<b>金曜日の来場者数について伸びしろがあるため</b></li> </ul>

## 6 企画審査基準

項目	視点	重点
1. 全体構成	・ 得られる成果が具体的か、その設定が適切か	
2. 出展者募集・ 審査・選定	・ イノベーション意欲を有する出展者を集めるための具体的な方策や審査基準、選定方法が提案されているか	○
3. 出展者サポート	・ 出展者の出展スキルや意欲の向上、出展者同士の交流促進につながる具体的な企画検討ができているか ・ 会期後においても出展者が協業・連携に向けた取組を進められるようなフォローアップ策を提示しているか 等	○
4. 来場者広報	・ 広報のターゲットを明確にした上で、それら個々のターゲットに訴求できる広報策を示しているか 等	○
5. 会場レイアウト	・ 会場全体を活用し、活気ある展示会場にするための工夫がなされているか 等	
6. ステージイベント ・ ワークショップ等	・ 出展者と来場者双方の興味を喚起するような工夫がなされているか 等	○
7. 効果検証	・ 本イベントの開催効果について効果検証が可能な企画（指標・手法）となっているか	
8. 運営体制	・ 提案内容の実現可能性が高い運営体制となっているか 等	

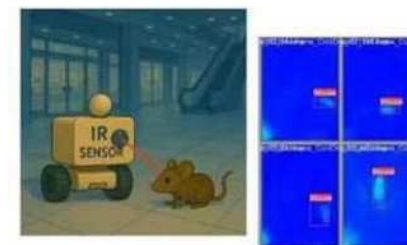
## 7 企画選定委員会委員

	所属
委員長	企画選定委員会実施前のため、非公開
委員	

## 1 リーディングプロジェクト

- ✓ 多摩地域におけるイノベーション創出のアドバルーンとなる**リーディングプロジェクト**を令和7年度も募集。**10件**選定し、**社会実装**に向けた**実証の取組**を**支援**
- ✓ **令和6年度**に選定したプロジェクトのうち、前年度に検証した製品・サービスの社会実装に向けた取組である**9件**に対して**具体的な事業計画策定**を**支援**
- ✓ **令和5年度**に選定したプロジェクトのうち、前年度に事業計画を策定した**7件**に対して、**販路拡大**に向けた**展示会出展**を**支援**

< 1年目支援FutuRocket株式会社 >



## 2 多摩イノベーションコミュニティ

- ✓ 多様な主体の**交流・連携の促進**を目的に、**コミュニティ**を**運営**

### (1) 活動内容

- ・コミュニティ会員向け**イベント**（交流会・ワークショップ等）の**実施**  
令和7年度：**10回**開催（延べ**380名**参加）
- ・コミュニティ会員の他社と協業した**ビジネスアイデアのハンズオン支援**を実施  
令和7年度：**10件**支援 ※最大100万円費用補助



<ワークショップ>

### (2) 会員数（令和8年3月13日時点）

- ・**496**会員（前年比+135会員）

【内訳】中小企業230、SU169、大企業25、大学・研究機関7、その他65

※地域別：多摩地域224、区部221、その他51

### 3 多摩地域内外・海外向けのPR

#### ✓ 第3回たま未来・産業フェアの開催

会 期：令和8年1月30日（金）・31日（土）

場 所：東京たま未来メッセ（八王子市）

#### ✓ 区部向け情報発信イベントの開催

- ・大手町でモーニングピッチを実施

日 時：令和8年2月5日（木） 7:00～9:30

場 所：Global Business Hub Tokyo（大手町）

対象者：区部の大企業、VC、金融機関等 参加者：142名

内 容：コミュニティ代表事業者5社が自社の取組等についてプレゼン

#### ✓ 海外向けPRの実施

- ・国内外のバイヤー等が集まるhealthTECHJAPAN（パシフィコ横浜）に出展

会 期：令和7年2月8日（水）～10日（金）

出展内容：LP選定企業又は多摩地域に事業所を有するコミュニティ会員5社を審査の上選定し、多摩イノベーションエコシステムパビリオンとして出展



<モーニング・ピッチ>



<healthTECHJAPAN>

### 4 WEBサイトを通じた情報発信

令和7年度から新たに、

#### ✓ 自動翻訳機能を搭載

#### ✓ リーディングプロジェクト参画企業同士の対談インタビューを掲載

<自動翻訳表示のHP>



### 5 企業等の掘り起こし

#### ✓ ヒアリングによる本事業に参画するプレイヤーの掘り起こし

- ・ヒアリング100件 【内訳】 中小企業47、SU33、大企業6、その他14

## 多摩イノベーションエコシステム実行委員会 令和7年度事業報告

## 第1 実行委員会等の開催

## 1 組織

## (1) 実行委員会

多摩イノベーションエコシステム実行委員会（以下「実行委員会」という。）は、東京都産業労働局、東京都商工会議所連合会、東京都商工会連合会、一般社団法人首都圏産業活性化協会、東京都中小企業振興公社、東京都立産業技術研究センター（以下「構成団体」という。）が連携して、多摩地域のイノベーション創出に向けた基盤づくりを後押しする「多摩イノベーションエコシステム促進事業」の推進を目的に令和3年3月に設置された。

令和8年3月時点の就任状況は以下のとおりである。

委員長	東京都産業労働局長 田中 慎一
委員	東京都産業労働局商工部長 福田 哲平
	東京都商工会議所連合会 幹事商工会議所多摩商工会議所 専務理事 須崎 覚
	東京都商工会連合会専務理事 渡辺 由佳
	一般社団法人首都圏産業活性化協会理事・事務局長 芳賀 啓一
	公益財団法人東京都中小企業振興公社専務理事 山手 斉
	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ所長 片桐 正博

## (2) 幹事会

多摩イノベーションエコシステム実行委員会幹事会（以下「幹事会」という。）は、構成団体の実務担当者で構成され、実務的な事項について審議・決定する機関である。

令和8年3月時点の就任状況は以下のとおりである。

座長	東京都産業労働局商工部長 福田 哲平
幹事	東京都商工会議所連合会 幹事商工会議所 多摩商工会議所 中小企業相談所長 岩井 隆之
	東京都商工会連合会事務局長 小野寺 崇
	一般社団法人首都圏産業活性化協会 事務局次長 鈴木 直仁
	公益財団法人東京都中小企業振興公社 総合支援部多摩支社長 内田 昇
	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ総合支援課長 堀江 暁
	東京都産業労働局商工部 中小企業振興対策担当課長 富田 良

### (3) 事務局運営

東京都産業労働局商工部内に設置した実行委員会事務局において関係事務を処理するとともに、関係機関との連絡調整等を行った。

事務局の構成は以下のとおりである。

事務局 長	東京都産業労働局商工部長
事務局 次長	東京都産業労働局商工部中小企業振興対策担当課長
事務局 員	東京都産業労働局商工部職員

## 2 会議

### (1) 実行委員会

- 【第1回】 ○ 日 時 令和7年6月6日  
○ 場 所 書面開催  
○ 報 告 令和7年度多摩イノベーションエコシステム企画選定委員会  
(第1回) 実施報告
- 【第2回】 ○ 日 時 令和8年2月9日  
○ 場 所 オンライン開催  
○ 議 事 ・令和8年度事業計画(案)及び収支予算(案)について  
・令和8年度多摩イノベーションエコシステム促進事業に係る企画運營業務委託について
- 参加者 5名
- 【第3回】 ○ 日 時 令和8年3月26日  
○ 場 所 オンライン開催  
○ 議 事 ・令和8年度「多摩イノベーションエコシステム促進事業」  
実施に係る協定について  
・第3回たま未来・産業フェアの実施報告及び第4回たま  
未来・産業フェアの事業計画について  
・第4回たま未来・産業フェアの企画運營業務委託について  
・令和7年度決算報告書(案)及び事業報告書(案)について
- 報 告 ・令和7年度多摩イノベーションエコシステム企画選定  
(第2回) 実施報告
- 参加者 4名

### (2) 幹事会

- 【第1回】 ○ 日 時 令和7年5月23日(金)  
○ 場 所 都庁第一本庁舎 会議室  
○ 内 容 令和6年度の取組状況及び令和7年度の取組の方向性について  
○ 参加者 7名

- 【第2回】 ○ 日 時 令和7年10月31日（金）  
 ○ 場 所 オープンイノベーションフィールド多摩 国分寺館 会議室  
 ○ 内 容 令和7年度の取組状況について  
 ○ 参加者 7名

## 第2 事業内容

### 1 リーディングプロジェクトの支援

多摩地域におけるイノベーション創出のアドバルーンとなる「リーディングプロジェクト」を作り出すため、社会実装に向けた実証を支援した。

#### (1) 令和7年度選定リーディングプロジェクト（1年目支援）

##### ① プロジェクトの募集・選定

- 募集期間 令和7年4月17日（木）～6月2日（月）
- 応募件数 87件
- 選定結果 10件

##### ② 支援内容

- ・実証に関するハンズオン支援（助言・マッチング等）
- ・実証経費の支援（1プロジェクトあたり最大500万円）

##### ③ 実証

選定した10件のプロジェクト全てで、製品・サービスについて実証を実施。

#### 【参考】リーディングプロジェクト選定結果

	代表事業者名 (所在地)	プロジェクト名	連携先
1	株式会社 amulapo (新宿区)	VR/AR等のデジタル技術を用いた宇宙疑似体験サービスの検証	京王電鉄株式会社、京王ユース・プラザ株式会社
2	株式会社うちゅう (墨田区)	多摩地域の星空を題材とするナイトタイムツーリズムを活用した滞在型観光モデルの検証	JR東日本八王子支社、京王観光株式会社
3	株式会社ココロミル (新宿区)	新型ウェアラブル小型心電計を用いた、心疾患と睡眠時無呼吸症候群の早期発見アプローチの検証	都内ディベロッパー
4	株式会社 SeiRogai (港区)	多摩地域の留学生増加促進と観光振興に寄与する「360度VRで体験する大学&まち巡りキャンパスツアー」の検証	京王観光株式会社、中央大学国際センター、多摩市
5	株式会社 ティーエムダイレクト (中央区)	空き家を活用した室内栽培設備による遊休空間の収益化と環境負荷軽減の検証	堀留化学株式会社、株式会社アルジェントテクノロジー、有限会社オクギ製作所

6	株式会社ピリカ (千代田区)	使用済み人工芝の再資源化モデルの検証	東京ヴェルディ株式会社
7	FutuRocket 株式会社 (品川区)	AI を搭載した赤外線センサによる害獣・害虫検知サービスの検証	株式会社シー・アイ・シー、多摩地域の商業施設等
8	株式会社ベストマテリア (日野市)	AI を活用した老朽設備保全のためのリスク検知及び安定稼働に向けたサポートサービスの検証	多摩冶金株式会社
9	ヘルセンシング株式会社 (八王子市)	生体センサシートを用いた高齢者在宅介護・見守りシステムの検証	社会福祉法人三鷹市社会福祉事業団三鷹市福祉 Labo どんぐり山
10	リアルワールドゲームス株式会社 (千代田区)	健康増進に寄与するゲームアプリと周遊乗車券を用いた観光モデルの検証	株式会社東芝

(2) 令和6年度選定リーディングプロジェクト（2年目支援）

① プロジェクトの募集・選定

○ 応募件数 9件

○ 選定結果 9件

② 支援内容

・社会実装に向けた事業計画策定に係るハンズオン支援

・社会実装に向けた経費支援（1プロジェクトあたり最大500万円）

③ 社会実装

選定した9件のプロジェクトのうち、9件で事業計画策定

【参考】リーディングプロジェクト選定結果

	代表事業者名 (所在地)	プロジェクト名
1	アクセスエンジニアリング株式会社 (相模原市)	well-being な社会実装を目指す階段昇降車いすロボットの検証
2	株式会社 ICOMA (大田区)	ネットワーク通信機能を用いた、安心・安全な折り畳み電動特定小型モビリティの検証
3	株式会社カモマン (世田谷区)	学校現場における教職員の働きがい向上を支援する「教師エンゲージメントサーベイ」の検証
4	codeless technology 株式会社 (千代田区)	高齢者や外国人も安心して利用できる自治体サービスにおける申請書類のペーパーレス化の検証

5	株式会社 CogSmart (中央区)	脳の健康状態チェックから認知症早期予防介入までを支援する総合サービスの検証
6	scheme verge 株式会社 (文京区)	多摩の観光資源を活用したデジタル誘客・周遊、及び都市 OS との連携可能性の検証
7	株式会社 Tokyo New Cinema (町田市)	最新 PR 技術および資金調達法を活用した優れた日本商品の国際展開の検証
8	fabula 株式会社 (大田区)	多摩地域から排出された食品廃棄物を活用した新素材および製品の開発
9	polyfit 株式会社 (杉並区)	地域住民及び事業者をスポットで学校現場に活用するシステム構築の検証

(3) 令和5年度選定リーディングプロジェクト（3年目支援）

- ・ 販路開拓の足掛かりとして、展示会等への出展を支援
- ・ 出展費用の補助や PR ポイントの整理、営業プランの検討、出展後のフォロー等を実施

【参考】出展支援状況

	代表事業者	プロジェクト名	出展した展示会
1	エアロセンス株式会社 (北区)	垂直離着陸型固定翼ドローンによるレーザー計測を活用したスマート林業の検証	防災・減災・危機管理展 @ポートメッセ名古屋
2	株式会社 OUI (港区)	新眼科医療機器を用いた包摂的な眼科診断モデルの検証	日本総合検診医学会 @パシフィコ横浜
3	株式会社 humorous (目黒区)	電気を使わず高輝度蓄光素材を活用し、暗闇を安心にする新しいあかりの検証	JapanHomeShow&BuildingShow2025 @東京ビッグサイト
4	カエルム株式会社 (渋谷区)	トレーラー型ソーラーステーション×小型 EV による山間部での二次交通パッケージの検証	サーキュラーパートナーシップ EXPO @東京ビッグサイト
5	株式会社 yuni (中央区)	寝具等の再生素材化によるサーキュラーエコノミー実現に向けた検証	リサイクルテックジャパン @幕張メッセ
6	株式会社イノフィス (八王子市)	倉庫・配送業務におけるパワーアシストスーツを活用した業務負荷軽減の検証	ロボデックス @東京ビッグサイト
7	石川酒造株式会社 (福生市)	酒造りの工程における IoT 技術を用いた品質管理・技術承継の検証	ドリンクジャパン @幕張メッセ

2 多摩イノベーションコミュニティ

多様な主体の交流・連携の促進を目的に、令和4年8月にコミュニティを立ち上げた。

(1) 活動内容

- ・コミュニティ会員向けイベント（交流会・ワークショップ等）の実施
- ・会員間のマッチング機会の提供
- ・他社との連携による新事業の構想作成に向けた支援 等

(2) 会員数（令和8年3月13日時点）

496会員（前年比+135会員）

【内訳】中小企業230、SU169、大企業25、大学・研究機関7、その他65

※地域別：多摩地域224、区部221、その他51

(3) 活動実績

日程	内容	参加数
5月21日（水）	第1回技術支援ワークショップ 製品開発上の技術的課題を整理し、解決の糸口を見つける	16
7月18日（金）	第1回リバーズピッチ	53
8月1日（金）	第2回リバーズピッチ	34
8月22日（金）	第1回交流ワークショップ 多摩から始まる未来の協創！ 多様なプレイヤーが集う交流の場	42
9月5日（金）	第3回リバーズピッチ	54
11月17日（月）	第1回事業構想ワークショップ オープンイノベーションの基礎を知り、市場調査から事業機会を探索する	15
12月12日（金）	第2回事業構想ワークショップ ビジネスアイデアの発想と実証計画の策定	27
12月24日（水）	第2回技術支援ワークショップ 製品開発上の技術課題を整理し、解決の糸口を見つける	26
1月8日（木）	第3回事業構想ワークショップ 産学連携ピッチ	69
1月30日（金）	第2回交流ワークショップ 「顧客への価値提供を考える！」— 共創・連携を成功に導く秘訣 —	44

(4) ビジネスアイデア具現化支援

コミュニティ会員から他社協業のアイデアを募集し、その中から優れたアイデアの具現化支援を実施した。

① ビジネスアイデアの募集・選定

- 募集期間 令和7年9月2日(火)～10月10日(金)
- 応募件数 86件
- 選定結果 10件

② 支援内容

- ・ビジネスアイデア具現化に向けたハンズオン支援(助言・マッチング等)
- ・具現化費用の支援(1プロジェクトあたり最大100万円)

③ 支援期間

令和7年11月～令和8年2月

【参考】ビジネスアイデア具現化支援選定結果

	代表事業者	アイデアの概要	連携先
1	新協電子株式会社 (八王子市)	介護者等の声かけ負担を軽減する、難聴高齢者向け超指向性スピーカーの開発	三鷹市福祉 Labo どんぐり山 ※多摩エココミュニティつながり
2	ワイド・リンク株式会社 (立川市)	多摩発、医療的ケアを抱える子供達が、おしゃれを楽しめる服づくりプロジェクト	㈱タチカワファッションラボ ※多摩エココミュニティつながり
3	アプライトインフラドテクノロジー株式会社 (武蔵村山市)	インフラ設備点検保守を高度化する AI 搭載故障予知・診断サーモグラフィシステムとサービス	川崎市
4	株式会社 Every Will (新宿区)	利用の都度報酬が貰える安心安全な宅配荷物の受取りスポット「トリック」の構想・企画	三菱自動車工業㈱、㈱Bluebaton
5	株式会社テクサー (多摩市)	ZETA ネットワーク×ドローン×衛星通信×AI 等による山岳河川リアルタイム監視システムの実証	国際航業㈱ ※多摩エコリバースピッチ発
6	ファームマチダ東京株式会社 (町田市)	放置竹林を活用した農業振興事業(里山・農地保全、農業所得向上のロールモデル創出)	町田市、LOCAL BAMBOO(株)
7	株式会社ミエタ (中央区)	探究・進路指導コーディネーター派遣を通じた学校教育における校務支援プログラム	桜美林中学校・高等学校
8	株式会社Mind in a Device (豊島区)	スマホ×画像解析AIを用いた、カーブミラー、街路灯・防犯灯等のインフラ保守点検DXソリューション	国際航業㈱ ※多摩エコリバースピッチ発

9	オモテテ株式会社 (渋谷区)	トイレで地域の回遊性を向上。ITで民間施設の協力を促す新たな「公開トイレ」で実現する安心・快適なトイレ環境づくり	八王子市 ※多摩エコリバースピッチ発
10	株式会社オウルテス (港区)	多摩地域で「イチョウ葉+その他バイオマス素材」の複合探索・試験	日産緑化株式会社

#### (5) 技術支援

令和7年度から新たにコミュニティ会員向けに技術支援を開始

【支援件数】20社

【支援内容】

支援準備	開発の方針整理 (論点整理)				開発の実行支援			
現有技術 の分析	市場/ 技術調査	必要技術 の明確化	GAPの 特定	方針・ロー ドマップ	知財 戦略	パートナー 連携	設備投資	補助金 申請

#### 4 多摩地域内外・海外向けのPR

##### (1) たま未来・産業フェア

企業間連携やイノベーション創出機運醸成を目的とした展示会イベントを開催した。

###### ① 概要

日 時：令和8年1月30日（金）・31日（土）10：00～17：00

※31日（土）は16：00まで

場 所：東京たま未来メッセ（八王子市）

出展者：146社（リーディングプロジェクト19社含む。）

来場者：2日間のべ8,013名

###### ② 企画内容

多摩地域を中心とした中小企業の製品展示

ワークショップ（ビジネス、ものづくり体験）

ステージイベント（講演、パネルディスカッション）

マッチングコンシェルジュデスク

特別商談会

リーディングプロジェクトエリア

たまスタンド（交流スペース）

ミッションラリー



<リーディングプロジェクトエリア>



<たまスタンド>

##### (2) その他イベント

① 海外展開ワークショップ

日 時：令和7年6月13日（金） 15：30～18：30

場 所：O i F 国分寺（国分寺市）

対象者：海外展開に興味を持っている企業

内 容：最新の海外情勢や海外展開の先進事例の紹介

参加者：26名

② 学生向けイベント

「TAMA INNOVATION IDEA CAMPAS」

～若手起業家と考える！多摩エリアの魅力開発会議～

日 時：令和7年9月25日（木） 19：00～21：00

場 所：Startup Hub Tokyo TAMA（立川市）

対象者：起業や新規事業に関心をもっている学生

内 容：多摩地域の課題解決を学生視点で考える

参加者：31名

③ リーディングプロジェクト2年目成果報告会

「リーディングプロジェクト 多摩発イノベーション創出への挑戦」

日 時：令和8年1月30日（金） 15：00～16：50

場 所：東京たま未来メッセ（八王子市）

対象者：たま未来・産業フェア出展者、来場者

内 容：リーディングプロジェクト2年目企業の9社の成果発表の場とするとともに、  
本事業の取組について紹介

参加者：44名

④ Morning Pitch※

第572回地域イノベーション特集～健康・観光分野のスタートアップが手掛ける多摩地域の活性化～

※デロイトトマソンキャピタル株式会社、野村証券株式会社が幹事となって開催しているイベント

日 時：令和8年2月5日（木） 7：00～9：15

場 所：Global Business Hub Tokyo（大手町）

対象者：区部の大企業、VC、金融機関、モーニングピッチ会員等

内 容：コミュニティ代表事業者5社が自社の取組等についてプレゼン

参加者：142名

【参考】イベントの様子



<学生向けイベント>



<2年目成果発表会>



<モーニングピッチ>

(3) 展示会への出展

① 産業交流展

会 期：令和7年11月26日（水）～28日（金）

場 所：東京ビッグサイト

出展内容：多摩イノベーションエコシステム事務局が出展し、各リーディングプロジェクトの取組内容や製品・サービスを展示

② healthTECHJAPAN

会 期：令和7年10月8日（水）～10日（金）

場 所：パシフィコ横浜

出展内容：リーディングプロジェクト選定企業又は多摩地域に事業所を有するコミュニティ会員5社を審査の上選定し、多摩イノベーションエコシステムパビリオンとして出展。国内外の来場者との商談支援等を実施

【参考】展示会の様子



<healthTECHJAPAN>



<産業交流展>

4 WEB サイト等を通じた情報発信

令和4年8月に開設。令和7年度からは、新たに自動翻訳機能を搭載するとともに、リーディングプロジェクト企業同士の対談インタビューを掲載するなどした。

【掲載実績】

- ・多摩地域の企業紹介（50件）
- ・インタビュー記事（30件）
- ・リーディングプロジェクトの紹介（10件）
- ・多摩イノベーションコミュニティの案内
- ・本事業で開催したイベントのレポート 等

【参考】WEBサイトの掲載内容



<自動翻訳に対応したWEBサイト>



<インタビュー記事>



<多摩地域の企業紹介>

## 5 企業の掘り起こし

多摩地域の中小企業のほか、区部のスタートアップ等に対して、他社との交流・連携の状況や支援ニーズ等に関するヒアリングを行い、本事業に参画するプレイヤーの掘り起こしを行った。

### (1) ヒアリング概要

項目：他社との連携や協業における課題感・支援ニーズ、日々の活動で感じる多摩地域の社会課題、現在注力している取り組みや企業等との連携 等

対象者：中小企業、スタートアップ、大企業、その他（産業支援機関、地域団体、VC 等）

### (2) ヒアリング数

100件 【内訳】中小企業47、SU33、大企業6、その他14

多摩イノベーションエコシステム促進事業 資料5-2

令和7年度 収支決算書(案)

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	備考
負担金	902,370,000	886,835,648	15,534,352	
合計	902,370,000	886,835,648	15,534,352	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	備考
事業運営費 委託料	897,400,000	883,194,758	14,205,242	事業運営に係る委託費
事業運営費 会場借上費	4,500,000	3,328,000	1,172,000	事業運営に係る会場借上費
事務局運営費 会議費	50,000	0	50,000	委員会の開催等に係る経費
事務局運営費 旅費交通費	10,000	0	10,000	事務局等の旅費、交通費
事務局運営費 消耗品費	10,000	0	10,000	事業運営に係る消耗品の経費
事務局運営費 役務費	400,000	312,890	87,110	振込手数料、その他の経費
支出合計	902,370,000	886,835,648	15,534,352	
収支剰余金	0	15,534,352	15,534,352	東京都へ返還
合計	902,370,000	902,370,000	0	

令和7年度多摩イノベーションエコシステム企画選定委員会（第2回）実施報告書

- 1 契約件名  
令和8年度多摩イノベーションエコシステム促進事業に係る企画運営等業務委託
- 2 契約手法  
企画提案方式
- 3 開催日  
令和8年3月16日（月曜日）
- 4 審査結果  
審査基準に基づく厳正な審査を行った結果、A社が最も高い評価点を得た。

No	入札者	評価点（100点満点）
1	A社	76.6点

なお、最も高い評価を得たA社は合同会社デロイトトーマツである。

5 審査委員

	所属・役職名	備考
1	東京都産業労働局商工部中小企業振興対策担当課長	委員長代理
2	東京都商工会議所連合会 幹事商工会議所 多摩商工会議所 中小企業相談所長	委員
3	一般社団法人首都圏産業活性化協会 事務局次長	
4	公益財団法人東京都中小企業振興公社多摩支社長	
5	地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ総合支援課長	

6 選定理由

- 多摩イノベーションエコシステム促進事業の事業趣旨を汲み、エコシステム形成促進に資する取組となっている。
- 類似のイノベーション創出のための企業支援業務等の実績があり、安定的な事業運営が見込める体制となっている。